

国の予算を ジェンダーの視点から問う

～私たちの暮らしと平和を守るための政治について考える～

6/24 (土)

女のスペース・にいがたは、あらゆる暴力の根絶に向けて活動を続け 30 年になろうとしています。コロナ禍後の生活は人々に大きな変化をもたらし、若い女性の自殺者の増加や生きていくこともままならない日々が続いています。国は防衛力の強化に向け、政府は防衛費増加を拙速に決定しました。今、私たちは、改めて、ジェンダーの視点で国の予算について考えてみたい。



午前10:00～12:00

会場:新潟ユニゾンプラザ 2階 女性団体交流室2

講師: 打越 さく良さん 弁護士・参議院議員

内容: 講演会

講師プロフィール

政治家。弁護士。児童虐待防止やドメスティックバイオレンス (DV) の救済などに取り組む。

参加
無料

* 申し込みは

裏面の申込書で6月15日(木)までに電話・FAX・メールでお申し込みください。
右下のQRコードからもお申し込みできます。

* お問い合わせ: NPO法人 女のスペース・にいがた事務局

* TEL: 025-231-3012 FAX: 025-231-3010

* Email fspace@piano.ocn.ne.jp



国の予算をジェンダーの視点から考える 申込書 6月15（木）締切り

氏名	郵便番号	住所	連絡先電話

困難女性支援法（2022年5月19日成立）、DV被害者支援法改正見込み（2023年6月会期末の第211回通常国会会期内）など、ジェンダー視点から一定の前進もありつつ課題も残されています。昨年は当初こども庁と仮称された省庁名が家庭責任を強調する右派の意向も会ってこども家庭庁とされたとの疑いも生じました。右派は選択的夫婦別姓の実現を阻んでもいます。そうした政治状況で未だジェンダー平等へどう前進していけるか。ともに考えましょう。



***当日は駐車場が混雑するおそれがあります。**

お車でお越しの際は時間に余裕を持ってお越しいただくか、公共交通機関をご利用ください。

＜新型コロナウイルス対策について＞

●新型コロナウイルスの影響により、やむなく中止、もしくは縮小開催になる可能性があります。